

谷農園 地大豆ブランド拡大生産経営強化プラン

認定農業者 谷 清美
谷 信明

はじめに

- ・平成19年度にチャレンジプラン支援事業により大豆コンパインを導入し、大山町大塚を中心とした地域で着実に規模拡大を行い、地域農業の維持を図ってきました。
- ・生産した米、菜種、そして大豆は非常に好評であり、安全な農産物を供給しています。
- ・特に地大豆は要望が多く、豆腐や豆乳の加工業者の間で良い評判を頂いており、大豆の増産が強く求められております。
- ・長男である信明が就農し、彼に安心して谷農園を継いでもらえるようにしたいと強く思っているところです。
- ・この現状を受け、地大豆の生産拡大を行い業者の要望に応え、さらに後継者のためになる取組をしたいと思い、このプランを作成いたしました。



地大豆（鳥取大山 2001）



地大豆（緑だんだん）

1 生産、経営の現状

（１）生産、経営の現状

- ・水稻部門では特別栽培米および有機米を生産しており、そのほとんどを直売し、安全・安心な米を供給しています。
- ・現在、転作作物の大部分が大豆と飼料米です。
- ・大豆は一部を農協出荷していますが、ほとんどは地大豆（品種：鳥取大山2001、緑だんだん）であり、高付加価値のある単価の高い商品となっています。この2品種に関しては鳥取県と契約を結び、谷農園のみが種子生産の権利を得ています。
- ・地大豆は現在、R社（智頭町）、S社（大山町）等に直販しており、豆腐および豆乳に加工され、高い人気を呼んでいます。その人気により他社からも地大豆が欲しいという要望を頂いており、供給量が需要に全く追いついていない状況になっています。
- ・今年から、長男である信明が就農しました。ゆくゆくは谷農園を継いでもらう予定です。



地大豆を使用したS社製豆腐




1. あれいな色をした「大山もち緑」は、インフラが少なく、農家は味が濃い、口当たりがよいと、その味を高く評価する。生産者は、この大豆を「大山もち緑」として、大豆の味を高く評価する。生産者は、この大豆を「大山もち緑」として、大豆の味を高く評価する。



大豆の育ち。大山もち緑の大豆は、味が濃い、口当たりがよいと、その味を高く評価する。生産者は、この大豆を「大山もち緑」として、大豆の味を高く評価する。生産者は、この大豆を「大山もち緑」として、大豆の味を高く評価する。

安心安全の地場大豆 「大山もち緑」

空が明るくなってきた。雲のゲルに包まれていた大山もゆくゆくとその様子を現しはじめた。さあ、次は大山周辺で昔から作られていたという大豆「大山もち緑」の畑へ。

乾燥しても緑色の残る「大山もち緑」は昭和の初め頃まではどこでも自家用に田の畦に植えていた。普通の大豆より大きくて甘みがあるが、例えやすく収量が少ないことから次第に作られなくなってしまうたそう。谷清美さんはこの地場の豆を復活させ、特産品にしようとする。2004年には有機JAS認定、07年には「大山もち緑」の認定を受けた。一今年は特に雨が少なかったし、秋の寒さを乗り越えようとしているので、雑草と虫との戦いです」と言いつつも、谷さんの声は明るい。

・ 広島県の雑誌「旬遊」vol.29(2009)より抜粋

現有の主な機械・施設

名称	能力	台数等	備考
トラクター	41ps	1台	
田植機	6条	1台	
コンバイン	52ps	1台	
大豆コンバイン	38ps	1台	H19チャレンジプラン事業で導入
ごんべえ播種機	4条	1台	
畦塗機		1台	
乾燥機		1台	
選別機		1台	
米保冷库		1台	
管理機		1台	
色選別機		1台	
マニアスプレッター		1台	
ハウス		2棟	

平成24年度の生産・経営状況

品目		面積・量
水稲	コシヒカリ 大山西裁米	1ha
	コシヒカリ(直販用)	10ha
	減農薬無化学肥料栽培	
	コシヒカリ(直販)	90a
	有機栽培	
	きぬむすめ(直販用)	97a
	飼料用米	4ha
	小計	16.9ha
転作	大豆(一般大豆)	50a
	地大豆(鳥取大山2001)	2ha
	地大豆(緑だんだん)	50a
	菜種	1ha
	小計	4ha
作業受託	耕耘	7.5ha
	代かき	4ha
	水稲田植	1ha
	水稲収穫	5ha
	水稲乾燥調製	2.5ha
	大豆収穫	1ha
	小計	21ha
合計		41.9ha

(2) 課題

- ・地大豆の要望に応えるために面積を拡大し生産量を増やしたいと考えておりますが、現有の機械で、一人で作業していくことは無理があります。
- ・実需の要望により大豆は減農薬栽培を行っており、雑草対策のために中耕・培土が必須となっています。現在は、中耕・培土を歩行用管理機で行っていますが、現在の規模でも作業が追いついていません。
- ・大豆を生産するほ場について、連作障害を回避するため一部輪作も行っていますが、連作せざるを得ないほ場も出てきます。また、収量と品質の高い大豆を生産するためには単なる耕耘だけでは無理があります。
- ・大豆に関して、収益をあげるためにも、特色有る大豆の生産面積及び出荷量を増やしていかなくてはなりません。
- ・後継者に安心して継いでもらうため、収益を上げていく体制を構築していく必要があります。

2 生産・経営等の目標と方法

(1) 目標

① 地大豆の生産量拡大

- ・現在の実需側からの要望量に対する目標生産量を約10tと定め、これを安定的に生産

していきます。これにより、R社、S社、K社等の計4社からの要望に順次応えていきます。

② 大豆部門の利益向上と後継者育成

- ・後継者に水稻部門を担ってもらい、大豆部門の規模拡大を図ることで農園全体の所得を向上させます。
- ・栽培・販売の実績を拡大し、雇用受け入れのための体制を維持していきます。

③ 地大豆による地域貢献

- ・地大豆を大山町の特産品に育て上げ、町の農業活性化を促進します。

(2) 方法

① 地大豆の生産量拡大

- ・目標収量 10 t を達成するためには約 13ha の面積の耕作が必要となります。
- ・大面積のほ場で中耕・培土を実施するために、5連の中耕培土機を導入します。このアタッチメントにより雑草害を最小限に抑え、反収の増加と品質向上を目指します。
- ・生育途中の地大豆。品質の良い大豆を生産するためには、中耕・培土が必要。
- ・現有の播種機は4条播種のものであり、1台しか所有していません。そのため、大豆専用播種機（7条）を導入し、より効率的な播種作業を実施します。
- ・連作障害の回避と地大豆の高品質化のためには、ほ場の土壌改良をしていく必要があります。そのため、土壌の天地返しのためにボトムブラウ、その後の効率的な碎土のためにバーチカルハローを導入します。
- ・地力を高めるために町内の畜産農家から堆肥を導入し、土づくりを積極的に行っていきます。このような耕畜連携を行っていくことで、地域の環境調和と農業に貢献していきます。
- ・各種アタッチメントを使用した作業を行うため、さらに米・菜種部門との競合を避け、分散して効率的な作業を実施するため、新たにトラクター（55ps）を導入します。



② 大豆部門の利益向上と後継者育成

- ・若手農業者を雇用し、地域農業の維持発展を助けます。さらに谷農園を中心とした地大豆生産者グループを作り、地大豆の供給量増加を図ります。

- ・収益性の高い地大豆の生産拡大を行い、利益向上を見いだします。
- ・水稲部門を後継者に専任させ、自立した農業経営を確立していきます。

③ 地大豆による地域貢献

- ・大山めぐみの里の加工グループへ地大豆を出荷し、地元特産商品の生産・販売を依頼します。これにより、地域産業へ貢献していきます。

今後の具体的な取組と役割分担

取組内容	平24	平25	平26	平27	役割分担
農地の受託・大豆作付面積の拡大	○	○	○	○	本人、後継者、従事者、農業委員会
期間雇用の確保	○	○	○	○	本人
地大豆の販売量の増加	○	○	○	○	本人
地大豆を使用した製品のPRおよび活用	○	○	○	○	本人、R社、S社、K社、大山めぐみの里
地大豆の品質向上	○	○	○	○	本人、県(普及所、農業試験場)
地域の堆肥使用	○	○	○	○	本人、地域産産農家
後継者のための体制作り	○	○	○	○	本人
トラクタ(大豆用・55ps)の導入	◎				負担区分: 県1/3、町1/6、本人1/2
中耕ローターの導入	◎				"
2WAYローター(ロータリー)の導入		◎			"
大豆専用播種機の導入		◎			"
ボトムプラウの導入		◎			"
バーチカルハローの導入		◎			"

役割分担: 本人○、チャレンジプラン支援事業◎

支援事業の内容

事業内容	事業費(千円)	平24	平25	負担区分
トラクタ(大豆用・55ps)	8,547	◎		県1/3、町1/6、本人1/2
中耕ローター	1,701	◎		"
2WAYローター(ロータリー)	1,151		◎	"
大豆専用播種機	876		◎	"
ボトムプラウ	1,230		◎	"
バーチカルハロー	1,272		◎	"

大豆専用トラクター(55ps)利用計画

機種	作業名 (使用作業機)	1日作業負担面積 (ha/日)	作業期間 (通期)	期間中の日数 (日)	作業可能日数 (注1)	作業負担面積 (注2)	作付け面積 (ha)	必要機台数 (注3)
トラクター55ps (25年度導入)	耕耘・播種 (2WAYローター・中耕機)	2.43	6/20~7/4	15	10.9	26.4	13	0.49
	中耕 (中耕ローター)	2.14	7/30~8/30	32	23.2	49.7	13	0.78
	反転耕 (ボトムプラウ)	1.19	2/20~3/10	20	14.5	17.3	7	0.41
	碎土 (バーチカルハロー)	2.44	2/20~3/10	20	14.5	35.4	7	0.20

注1) 作業期間中の降雨日を除いた日数

注2) 作業期間中に負担できる面積

注3) 作付け面積/作業負担面積

※中耕は期間中に3回行う

現状の作業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水稲	播種・育苗 耕耘・畦塗り 堆肥散布	代かき 田植え		除草			刈取り・脱穀					
大豆			耕起 播種	中耕・培土		除草	刈取り 脱穀					
菜種			除草・刈取り				除草・耕起 播種					

プラン実施後の作業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
水稲	播種・育苗 耕耘・畦塗り 堆肥・資材散布	代かき 田植え	除草		除草		刈取り・脱穀					
大豆			耕起 播種	中耕・培土		除草	刈取り 脱穀				天日返し 培土	
菜種			除草・刈取り				除草・耕起 播種					

水稲担当: 後継者、期間雇用

大豆担当: 本人、期間雇用

菜種担当: 本人、後継者、期間雇用

年間労働時間(見込み)

	平24	平25	平26	平27
本人	1,765 hr	1,668 hr	1,654 hr	1,736 hr
後継者	1,645 hr	1,599 hr	1,733 hr	1,831 hr
臨時雇用	1,481 hr	1,431 hr	1,476 hr	1,513 hr

栽培の現状と3年後の目標

		平24 (現状)	平25	平26	平27	
水稲(特別栽培米)	面積(a)	100	100	100	100	
	販売量(kg)	4,200	4,200	4,200	4,200	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	100	100	100	
水稲(直販用)	面積(a)	1,100	1,100	1,100	1,100	
	販売量(kg)	46,200	46,200	46,200	46,200	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	106	106	106	
水稲(有機米)	面積(a)	90	90	90	90	
	販売量(kg)	2,250	2,250	2,250	2,250	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	140	140	140	
水稲(飼料用)	面積(a)	400	150	90	0	
	販売量(kg)	16,800	6,300	3,780	0	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	38	22	0	
一般大豆	面積(a)	50	100	150	200	
	販売量(kg)	600	1,300	1,950	2,800	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	217	325	467	
地大豆 (鳥取大山2001)	面積(a)	200	400	600	800	
	販売量(kg)	2,400	5,200	7,800	11,200	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	217	325	467	
地大豆 (緑だんだん)	面積(a)	50	180	250	300	
	販売量(kg)	600	2,340	3,250	4,200	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	390	542	700	
ナタネ	面積(a)	100	100	200	300	
	販売量(kg)	2,000	2,000	4,000	6,000	
	単価(円/kg)					
	販売金額(指数)	100	100	200	300	
作業受託	耕耘	面積(a)	750	750	750	750
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
	代かき	面積(a)	400	400	400	400
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
	水稲田植	面積(a)	100	100	100	100
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
	水稲収穫	面積(a)	500	500	500	500
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
	水稲乾燥調製	面積(a)	250	250	250	250
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
	大豆収穫	面積(a)	100	100	100	100
		単価(円/10a)				
		請負金額(指数)	100	100	100	100
戸別所得補償交付金		金額(指数)	100	104	130	155
合計	作付面積(a)	2,090	2,220	2,580	2,890	
	作業受託面積(a)	2,100	2,100	2,100	2,100	
	収入金額(指数)	100	110	124	138	
	所得金額(指数)	100	121	144	183	